

新潟県の野菜不足改善に取り組みます ベジメータ®を新潟県で初導入

株式会社マルイ(本社：新潟、代表取締役社長：清水 辰雄)は、野菜摂取量改善を目的とした取り組みとして、株式会社 LLC ジャパン(英名：Longevity Link Japan Corporation、本社：神奈川県横浜市、代表取締役：前田 学)の「ベジメータ®」を、7月下旬よりマルイ分水店、女池店の2店舗へ導入致します。

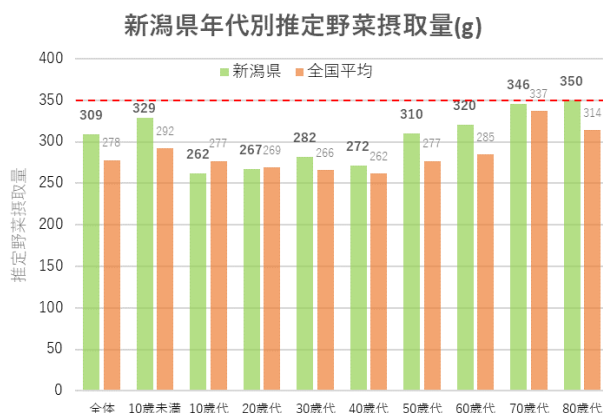
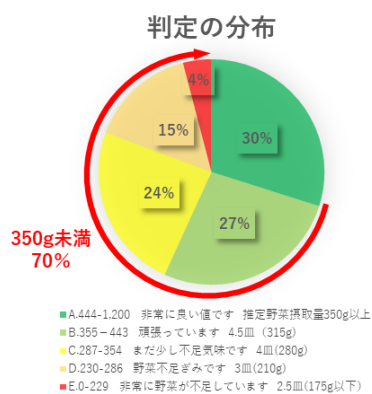
「ベジメータ®」は、世界で初めて2010年に「野菜摂取量を評価する装置」を開発したアメリカ LLC 社が、皮膚カロテノイド量測定の特許技術を元に開発した装置で、2020年にアメリカ農務省の研究者らにより「正確に野菜摂取量を評価する装置」として評価を受けた国内唯一の装置です。



■新潟県の野菜摂取量は、日本人目標 350g に足りていません

「ベジメータ®」を用いた新潟県における調査(565名：新潟市、長岡市)では、推定平均野菜摂取量 309g で70%の方が野菜不足でありました。

50歳以降の年代は比較的高いものの、特に10～40代の若い世代で低いことが明らかになっています。



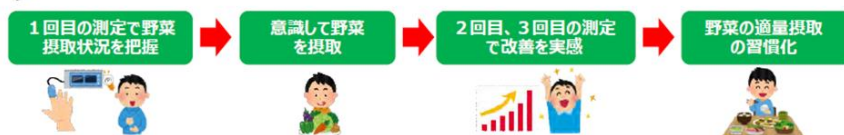
■「ベジメータ®」は光を使った皮膚カロテノイド量測定装置です

野菜に含まれているカロテノイド（カロテン、リコピン、ルテイン等）は血中に移行して、やがて皮膚に現れます。ベジメータ®は、指先に10秒間、白色LED光をあてて、反射する光を測定することによって、測定に大きく影響する肌（メラニン）や血液（ヘモグロビン）の色の影響を全く受けずに、正確に野菜摂取状況を評価します。

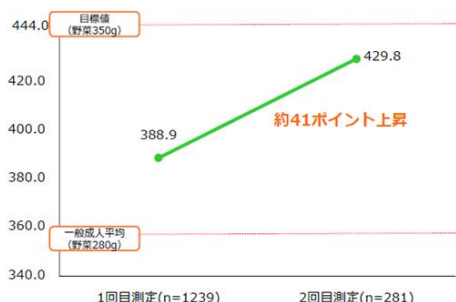
測定精度が高いため、野菜摂取のわずかな変化を捉えることができ、野菜を増やした努力の結果は”2週間以内”にベジスコア™（0-1,200）の変化で確認することができます。

昨年、農林水産省は野菜摂取量の見える化の取組で「ベジメータ®」を省内に設置したところ、わずか1か月で41ポイント（推定野菜摂取量35g程度）改善し、目標ベジスコア™をあらかじめ設定することで、改善の度合いが更に大きくなることが確認されております。

▶取組のイメージ



▶ベジスコアの変化



▶ベジスコア5類型の割合の変化

	1回目の測定		2回目の測定	
	人数	割合	人数	割合
A (444-1,200)	328	26.5	111	39.5
B (355-443)	364	29.4	76	27.0
C (287-354)	340	27.4	66	23.5
D (230-286)	167	13.5	19	6.8
E (0-229)	40	3.2	9	3.2
合計	1,239	100	281	100

13ポイント上昇
約7ポイント減少

	人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
1回目の測定	1,239	388.9	116	108	1,062
2回目の測定	281	429.8	135	183	982

農林水産省 プレスリリース「もっと野菜を食べよう」野菜摂取量の見える化の取組結果について（2022.11.18）より

マルイでは「ベジメータ®」を青果売場に設置し、カロテノイドを多く含む緑黄色野菜の必要摂取量を売場上で”見える化”し、毎日美味しく・ムリなく食べられるメニューのご提案を合わせて行う事で、ご家族みんなで楽しく、お客様の野菜不足改善を促進します。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルイ 経営企画室 清水

TEL:0258-66-0101 FAX:0258-66-0157 〒954-0111 新潟県見附市今町 3-11-68

<https://www.super-marui.com/> E-mail : info-hiroba@super-marui.com